

# こんな生き方あったんだ!?

～農業・漁業・林業・NPO/NGO・僧侶…

多様な働き方・生き方を通して見るもう一つの社会～

第8弾 もう一つの社会を生み出す働き方・生き方

1月31日(水) 18:30～

講師：山口 一史さん (ひょうご・まち・くらし研究所常務理事)

場所：被災地 NGO 協働センター

(神戸市兵庫区中道通 2-1-10)

参加費：2500 円 (食事代込) / 1500 円 (学生)

被災地の復興に欠かせないのが、被災前の価値観からの転換を図ること、つまり、「もう一つの社会」を実現することです。価値観の転換には、第一次産業のように地に根ざした仕事をしている方や、NPO/NGO のような非営利のセクターで働く方など、「もう一つの働き方・生き方」を選択する人が増えていかなければ難しいと考えられるでしょう。今回の寺子屋シリーズでは、実際に「もう一つの働き方・生き方」を選択し、実践を続けておられる方々をお招きし、①なぜその活動(仕事)を選んだのか?②なぜその活動(仕事)を続けているのか?③その活動(仕事)を通して生き方(や人生)がどう変わったのか?という3つの視点からお話をお聞きし、「もう一つの社会」に欠かせない要素について探ってきました。

最終回となる今回は、ひょうご・まち・くらし研究所常務理事の山口一史さんにこれまでの講師の方々のお話を踏まえて、「もう一つの社会を生み出す働き方・生き方」について、まとめのお話をさせていただきます。

ぜひお越しください!

## 講師プロフィール

神戸大学卒業後、神戸新聞社入社。経済部長、論説委員、情報科学研究所長などを経て、1998年ラジオ関西常務、同社長。2003年に退任し、ひょうご・まち・くらし研究所の設立に参加し常務理事に。神戸生まれ。2013年6月からコープこうべ理事長。

申込/問合せ  
※食事の都合のため要申込

被災地 NGO 協働センター  
TEL:078-574-0701  
E-mail:info@ngo-kyodo.org